

## 第4回新塩尻市立平出博物館基本計画策定委員会議事概要

- 1 日時：令和5年6月12日（月）午後1時～4時
- 2 場所：塩尻市役所5階大会議室+リモート会議
- 3 出席者 委員 11名出席（うち1名はリモート）1名欠席、事務局
- 4 議事内容
  - (1) 第3回策定委員会の議事概要について
  - (2) 市民アンケート調査について
  - (3) パブリックコメント募集結果について
  - (4) 基本計画（案）について

### 【議題・主な意見等】

#### (1) 第3回策定委員会の議事概要について

- ・原案で承認とする。

#### (2) 市民アンケート調査について

##### <まとめ>

- ・アンケート結果から把握できた市民の意見については基本計画（案）に反映をする。

##### <委員の主な意見>

- ・自由意見にある忌憚のない意見をきちんと捉え、今後の取り組みを通じて「歴史を考えることが未来につながる」ことだと市民に理解してもらえる説明をしていくことが必要。
- ・アンケート結果にあるように、周辺にトイレや遊具などの利便性向上につながる設備を整備し、博物館と遺跡公園が一体性を持ったエリアとして整備されるとよい。
- ・イベントを博物館と連携させてどのように運営していくのかがこれからの新しい博物館の重要な課題である。
- ・周知活動の強化として、市民向けワークショップの開催など、直接市民の声を聞く機会を設けてはどうか。手始めは歴史好きなコアなファンから始めても、参加者の理解が深まれば、その人たちがいろいろな発信をし始め、どんどんと情報が広まる流れになる。
- ・近年、市内公民館のネットワークが広がっている印象があるので、ワークショップなどの取り組みは公民館に働きかけてもよいかもしれない。
- ・建設予定地は大部分が史跡の指定地外なので、市民からの提案もうまく取りまとめて生かしてほしい。

#### (3) パブリックコメント募集結果について

##### <まとめ>

- ・市の考え方どおりとし、基本設計にてさらに検討していく。

#### <委員の主な意見>

- ・少数の方々からのご意見ではあるが、新博物館への期待が感じられ良い傾向だと感じる。
- ・VRなどの新しい技術への期待が高い点は少し気にかかる。新平出博物館は史跡に隣接した施設なので、まずは実物資料を通じて分かりやすく伝えることが主務である。
- ・塩尻市内の様々な歴史文化（街道文化、民俗など）も併せて伝える必要があることも事実なので、「実物（出土品や復元建物や周辺環境）を十分に活かした”平出展示”」と「映像や新たな技術を多用した”塩尻展示”」の両面を兼ね備えた展示計画を組み立てていく必要があるように感じた。

#### (4) 基本計画（案）について

##### <まとめ>

- ・現博物館を収蔵庫として転用することについては、立地上の問題があるので、再検討すること。
- ・表紙はPRチラシのようなイメージがいい。

##### <委員の主な意見>

- ・最初の「新博物館の計画策定にあたって」の文面には、市民アンケート調査等の意見を踏まえている旨を書いた方がよいと感じる。
- ・基本計画全文を通して統一感を出した方がよい。
- ・現博物館の「対象敷地が土砂災害警戒区域に指定されている」と書かれているが、今後の対応で「収蔵庫への転用」となっているので、現況を踏まえての対応を明記した方がよい。
- ・PRチラシの表紙のようなイメージを計画の表紙に使ってもよいのではないかと。新しい博物館ができるんだな、ここから何かが始まりそうだなという予感を表紙で感じてもらいたい。
- ・基幹博物館としての役割や具体的にどことどう繋がっていくのかといった説明はつながる事業で記載されないといけないと考える。加えて、博物館施設だけでなく指定や登録、選定を受けている文化財についても本当は取り上げるべきだろうと感じる。そうした文化財と基幹博物館としての新平出博物館がどう有機的に作用するのかというところが求められるのだと思うので、ぜひここに博物館の一覧や代表的な文化財のリストとそれらのビジュアルを入れることが必要。
- ・配置計画を図で示しているが、こうした図は独り歩きしかねないので案であることを強調したほうがよい。むしろ[基本計画 P38]の概念図程度に留めてもよいかもしれない。
- ・直営及び指定管理者との役割分担という表があり、どの方式を進めるかをここで明記しないのは妥当である。ただ、この指定管理という方法と、Park-PFIやPFIは方式として違うので、可能性としてあるのであれば比較しておく必要がある。
- ・ここに示された方針を全うするためには、どのぐらいの実務量がかかるのか。全体としてどの程度の業務量になり、これだけの人数が必要になるといったラインは設定できるのか。この基本計画を全うするにはこのぐらいの業務量になるということが示されないまま指定管理の話が出てきても理解しがたい。
- ・展開する事業でいろいろなプログラムが例として書いてあるが、ライトアップイベントやフォトコンテスト、外部とのイベントであるキッチンカーなど近年の新しい試みが書かれていないので、今後継続するかは別としてそうしたことも紹介した方がよい。

- ・諸室計画について、職員・スタッフのための休憩スペースが確保されているか。
- ・ガイドの育成はとても大事だと思う。博物館は何もなくても、ガイドの話によっては引き込まれて楽しめることがあるので、しっかりと取り組んでいただきたい。
- ・まちの自慢としてとりあえず博物館に行こうかというようになるべきだと考えるので、常設展示はやはり無料であるのが理想だと思う。
- ・記念館については、裁判所として建てられ宗賀村役場として使われたのちに現在の場所にもってきたものだが、そこに費用をつぎ込むのであれば新しい施設にかけてほしい。
- ・一般的な収蔵品は現博物館に置くものと思うが、新博物館の収蔵エリアにはなにを収蔵するのか。その選別が非常に重要である。
- ・概要版の表面は、コンセプト・全体計画・事業活動程度、裏面は敷地・展示・スケジュール程度。費用はあまり触れられていないが、最も知りたい部分であるので、その程度に絞って書いてはどうか。